

令和3年9月25日から令和4年1月14日までの出来事を掲載しました。



タイトル：一時停止
撮影者：小枝 盟志さん

表紙写真について、令和3年7月10日から令和4年1月7日までの期間で2名の方から3点の写真のご応募がありました。ご応募ありがとうございました。次回の締切は令和4年7月8日です。

議 会 ト ピ ッ ク ス

弘前市議会基本条例を改正

令和3年第4回定例会最終日、弘前市議会基本条例の一部を改正する条例案が議員提出議案として提出され、採決の結果、全会一致で可決されました。この改正案では、災害発生時等において、初動時の状況把握や迅速な意思決定など、平時とは異なる対応が求められることから、市議会として、迅速かつ的確に災害に対応できるよう危機管理体制の整備に努めることとする条項を新たに定めたものです。



提出者を代表して提案理由を説明する時苗博英議員

弘前市議会基本条例は、平成27年3月に制定し、議会や議員の活動原則や本会議のほか委員会等の原則公開を明記するなど、より充実し、開かれた議会を実現するための内容が盛り込まれております。議会運営委員会において、本条例の検証を行い、近年、地震や洪水など、全国各地で甚大な被害をもたらす災害が発生しており、今後も発生が懸念される大規模災害に備え、危機管理体制を整備することについて本条例に明記するべきであるとの結論に至ったものです。

令和3年第4回定例会

市長提出議案 27件

【会期：令和3年11月26日(金)～12月21日(火)】

●事件処分の報告及び承認について（事件処分第8号） 【令和3年度弘前市一般会計補正予算（第10号）】

新型コロナウイルス感染症への対応として、団体等が実施する販売促進事業に対する補助金を追加することとし、この措置に急を要したため処分したものです。

【事件処分年月日：令和3年11月4日】 補正額 1億2500万円

12月補正後の令和3年度予算

一般会計 876億4468万9千円
（12月補正額 83億8442万5千円）
特別会計 419億541万5千円
（12月補正額 2億3464万3千円）

●令和3年度弘前市一般会計補正予算（第11号）

新型コロナウイルス感染症に係る対応として、ワクチン接種に係る経費を追加するほか、令和3年産米の概算金下落を踏まえ、収入保険へ加入する農業者に対する保険料補助や当面の資金繰りとして融資を受ける際の利子助成、米の需要創出・新市場開拓対策に係る経費などを計上するとともに、令和3年の降雹により被災した農業者が融資を受ける際の利子助成に係る経費を計上するものです。

また、新型コロナウイルスワクチン接種事業などに係る繰越明許費の補正、令和3年度降雹災害資金利子助成金などに係る債務負担行為の補正をするものです。

補正額 10億7568万3千円

主な補正内容	事業費(千円)
新型コロナウイルスワクチン接種事業追加	896,354
収入保険制度加入促進緊急対策事業	105,000
農業経営支援対策資金利子助成金	1,421
地元産米需要創出緊急対策事業費補助金	30,000
青色申告転換促進緊急対策事業費補助金	7,500
タクシー及び自動車運転代行事業者事業継続支援金	34,750

●令和3年度弘前市一般会計補正予算（第13号）

新型コロナウイルス感染症に係る対応として、子育て世帯への臨時特別給付（先行給付金）を支給するための経費を計上するものです。

補正額 10億9953万円

●令和3年度弘前市一般会計補正予算（第12号）

新型コロナウイルス感染症への対応として、弘前城雪燈籠まつりにおける感染防止対策に係る経費などを計上するほか、新陳代謝等に伴う報酬・給料・職員手当等の人件費を追加するものです。

また、ふるさと納税寄附金推進事業などに係る経費を追加するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による事業の中止等に伴う減額をするものです。

そのほか、繰越明許費、債務負担行為及び地方債について所要の補正をするものです。

補正額 11億5282万4千円

主な補正内容	事業費(千円)
四大まつり開催事業追加（弘前城雪燈籠まつり）	2,410
学校教育活動継続支援事業	5,500

●令和3年度弘前市一般会計補正予算（第14号）

新型コロナウイルス感染症に係る対応として、生活保護に準じる水準の困窮世帯に対する支援金、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金及び子育て世帯への臨時特別給付（追加給付金）を支給するための経費を計上するものです。

また、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業に係る繰越明許費の補正をするものです。

補正額 49億3138万8千円

補正内容	事業費(千円)
生活困窮者自立支援金追加	27,023
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金	3,808,890
子育て世帯への臨時特別給付（追加給付金）	1,095,475

議員提出議案 2件

条例の改正

○弘前市監査委員条例の一部を改正する条例案
議員のうちから監査委員を選任しないこととするため、所要の改正をしようとするものです。

○弘前市議会基本条例の一部を改正する条例案
（1ページに関連記事）

弘前市監査委員条例の一部を改正する条例案に対する討論

反対・賛成討論がありましたので、その要旨を掲載します。

○反対の要旨 以下の理由で反対する。

- ・議会の監査請求権をもって議員選出の監査委員の機能は担保されるとは言えない
- ・通常、周知や手続に要する期間を設けるべき
- ・議員間で十分な議論が尽くされていない
- ・提案は拙速であり、説明が不十分

○賛成の要旨 以下の理由で賛成する。

- ・議会は、政策の有効性やその是非についてチェックを行うなど監視機能としての役割を發揮するべき
- ・監査委員は専門性のある識見監査委員に委ね、より複雑化する行政事務を的確に監査してもらい、当市の住民福祉の向上につなげていくべき

議員発議 1件

意見書

○西十和田トンネル（仮称）早期建設を求める意見書（案）

請願 1件

○コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める請願 …… 不採択

陳情 1件 ※陳情書は議員に参考配付しました。

○令和4年度私立幼稚園助成に関する陳情書

一般質問

質問・答弁の要約を掲載いたします。

※敬称略。（ ）は所属党派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。

※QRコードを読み取ると、一般質問の録画映像を閲覧することができます。



田中元
（櫻鳴会）



来春の市長選について

問 市長の決意を問う。

答 市政の重大な課題であった家庭系ごみの指定袋制度の導入を中止するとともに、ごみの減量化に努めたほか、新型コロナウイルス感染症に対しては、100を超える感染防止対策や経済対策などに奔走し、市民と一丸となって立ち向かってきた。すべては市民の幸せのため、市の発展のため、「市民生活を第一に」、市

民の暮らしを支え、市民のいのちを大切に、次の時代を託すひとを育てる、この三本の柱で、これからの弘前、新しい弘前、より良い弘前をつくっていくことが私の使命である。私は、「市民生活を第一に」、ぶれることなくこの政治理念を貫き、これからも市民のため、市発展のために、全身全霊で市政運営に挑む覚悟をもって、令和4年4月の市長選挙に出馬することを決意した。



鶴ヶ谷 慶市
（木揚公明）



伝統工芸について

問 愛宕地区で受け継がれている津軽竹籠について伺う。

答 伝統工芸産業の現状は、工芸業界全体の売上減少、後継者不足が問題視されており、津軽竹籠も売上が減少し、後継者も急激に減少したと認識している。しかし、近年、持続可能な循環型社会の形成に向け、ライフスタイル等の見直しが進み、手工業としての伝統工芸品が注目

され、津軽竹籠の生産が追いつかない状況だと伺っている。津軽竹籠の魅力を広め、後世に伝えようと市民団体が結成され、積極的に活動を始めたところでもあり、そのような団体と協力しながら、後継者の育成や需要拡大に向けた取組を検討するとともに、販路拡大や販売促進の事業も継続的に実施する。りんご産業の発展に大きく寄与した津軽竹籠を絶やさぬよう、伝統工芸産業の振興に努める。



石田 久
（日本共産党）



生活保護について

問 申請をためらう方が多い原因は。

答 厚生労働省のホームページには、生活保護の申請は国民の権利で、生活保護を必要とする可能性は誰にもあるので、ためらわずにご相談くださいとある。しかし、生活保護に対して「隠したいこと」等の負のイメージや、扶養照会等の制度上やむを得ない取扱いに抵抗を感じ、申請をちゅうちょすることが考えられる。

問 ケースワーカーの配置基準と状況は。

答 社会福祉法では、被保護世帯80世帯につき1名のケースワーカーを配置することを定めている。当市の生活保護受給世帯は、令和3年10月末日現在3,720世帯で、社会福祉法の基準に従うと46名のケースワーカーが必要になるが、現状では39名が配置され7名不足している。

〈その他の質問項目〉

○介護保険について ○国保について



千葉 浩規
（日本共産党）



プラスチック資源循環促進法について

問 令和4年4月から施行される予定のプラスチック資源循環促進法を受けての当市の役割について答えよ。

答 同法の施行により、市区町村は、主にプラスチック使用製品廃棄物の分別収集及び再商品化に努めるよう求められる。現在、令和3年8月に開催された津軽地域ごみ処理広域化協議会において、令和8年度からの8市町村によるプラスチッ

ク資源一括回収リサイクル実施に向け、具体的な制度設計などの協議を進めることを決定している。市としては、現段階で実施に向けた詳細なスケジュールは未定。今後、効率的かつ財政負担の少ない処理方法を検討する。一定の方向性が定まった段階で、市民の皆様等に周知を図り、取組に対する協力をお願いする。

〈その他の質問項目〉 ○灯油購入費の助成 ○地域と連携した雪対策

一般質問の写真は、過去に撮影した写真も含めて使用しています。

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



松橋 武史
(櫻鳴会)



子宮筋腫の治療と早期発見について

問 具体的な治療法と、早期発見に向けた市の取組を伺う。

答 薬物療法には出血や痛みを軽くする対症療法やホルモン療法、手術療法には、子宮全摘術や筋腫だけを切除する筋腫核出術、子宮を摘出せず温存する治療法としてカテーテルで筋腫への血流を遮断し、筋腫を小さくする子宮動脈塞栓術がある。検診の重要性について周知を図り、受診

率向上に向けた取組を推進していく。

中央分離帯の街路樹等の管理方法

問 北大通りのラベンダーの更新計画は。

答 市では令和元年度から8年度までのラベンダー更新計画を策定し、計画的に更新を実施していく。

問 田町4号線、堅田田町線の中央分離帯の樹木について。高木の必要性は。

答 当該区間の街路樹は、伐採や樹種の変更なども含め検討していく。



木村 隆洋
(創和会)



新型コロナウイルス感染症対策について

問 ワクチンの3回目接種のスケジュール及び接種体制について伺う。

答 接種間隔は国の原則どおりとし、2回目の接種を完了してから8か月以上を経過した18歳以上の市民に対し1回の追加接種を行う。接種の実施に当たっては、医師会等との協議を踏まえ、基本的には、1回目、2回目と同じ医療機関において3回目の接種を実施することとし、全部

で111の医療機関で対応する予定である。

観光行政について

問 観光館のあり方を伺う。

答 平成2年のオープン以降、施設の大規模な機能の見直しを行っていないが、外壁等の破損が確認されていることから、観光客の安全性や快適性の確保及び利用者の満足度を高めていくため、ハード及びソフトの両面から今後のあり方を検討していく必要があるものと考えている。



越 明 男
(日本共産党)



障がい者施設での虐待事案について

問 本定例会の直前に、「ある障がい者施設での虐待事案の報告」なるものを独自に入手した。内容は、極めて深刻なかつ放置できない重要事項が記載されており、市は、この報告文書をいつ受け取り、これまでどのような対応をとったのか。

答 市では、障がい福祉課が障害者虐待対応の窓口となっており、令和3年9月29日に通報があった。通報の内容は、9

月中旬、職員によって、施設利用者が顔に怪我を負ったということだった。

市としては、通報の内容について事実関係を確認するため、10月から施設の全職員と虐待を受けたとされる障がい者などの日程調整を行った上で、当該施設を訪問し、事実関係を確認するための調査を実施しているところである。

〈その他の質問項目〉

○ジェンダー平等について



成田 大介
(無所属)



犯罪被害者等支援について

問 市の考え方を伺う。

答 市では犯罪被害者またはその遺族への支援活動の推進を目的とする「弘前犯罪被害者支援ネットワーク」の構成員として活動に携わっているほか、市民から寄付を受けた本の売却代金を犯罪被害に遭われた方々の支援に役立てる「ホンデリングプロジェクト」に協力している。

犯罪被害者等が必要な支援を適切かつ

速やかに受けられるよう、総合的対応窓口機能の充実を図り、市民等の理解促進に向けた啓発事業を行うなど、関係機関と連携した支援施策の充実が重要と考えており、市民一人一人が安心して暮らせる社会の実現のため、犯罪被害者等支援条例の制定を目指し準備を進めている。

〈その他の質問項目〉

○弘前市パートナーシップ宣誓制度について

○児童虐待防止について



石山 敬
(創和会)



水田対策について

問 令和3年度水田活用状況について。

答 当市の令和3年度の主食用米の作付面積は2,763ヘクタールで、昨年度と比較して約1.5%減少。近隣自治体では、令和3年度、平川市は1,535ヘクタールで14.7%の減少、藤崎町は1,070ヘクタールで約6.6%減少している。主な転作作物の作付状況の推移は、最も面積が大きく、平成30年度に436ヘクタールであっ

た大豆は、年々増加し、令和2年度に464ヘクタール、令和3年度は475ヘクタールとなっている。また、平成30年度に40ヘクタールであった飼料用米は、その後30ヘクタールで推移し、令和3年度は昨年度の約6倍の約191ヘクタールで、市による再度の呼びかけ後に転換した面積は約63ヘクタールにも上っている。

〈その他の質問項目〉

○インボイス制度の周知について



石岡 千鶴子
(無所属)



概算金下落による米農家支援について

問 今後の支援の方向性を伺う。
答 市独自の対策として「当面の資金繰り対策」「農業経営の安定化対策」「需要創出・新市場開拓対策」を推進していく。また、国の「水田活用の直接支払交付金」等の活用により、主食用米以外の作物への転換を支援するなど、需要に応じた生産・販売及び水田利活用が適切に行われるよう推進していく。

支援対象児童等見守り強化事業について

問 事業に対する市の考えを伺う。
答 本事業が、これまで公助が届きにくかった児童への支援を実現し、地域における子育て世帯の孤立を防ぐ一翼を担っているものと認識しており、引き続き、関係機関等と連携しながら、子供の見守り体制の強化を推進していく。
 〈その他の質問項目〉

○大石武学流庭園について



野村 太郎
(創和会)



他地域との観光連携について

問 市の基本的な考え方を伺う。
答 近隣エリアで取り組んでいる観光連携としては、みちのく三大桜まつりや環白神地域におけるエコツーリズムを通じた連携などがあり、広域で一つの観光エリアとして情報発信することによって、多彩な観光資源や観光ルートがあることを印象づけ、より多くの観光客に訪れてみたいとの動機づけにつながるものと考えている。

さらにこれまでご縁のなかった地域との連携として、例えば、神戸のように航空路線の新規就航を契機に、当市の観光プロモーションを展開することで、新規市場開拓等につながるものと考えている。このような協力がきっかけとなり、自治体がそれぞれの魅力を発信しあうことで、新しい観光ルートが構築される可能性があることから、様々な地域との観光連携に積極的に取り組んでいく。



外崎 勝康
(木揚公明)



入札について

問 最低賃金が上昇した場合の対応は。
答 所管課のほか、市入札参加有資格者名簿の清掃等の業種の市内事業者へ個別に通知を行い、適正価格の契約に努める。
問 積算システムの導入について。
答 積算基準や共通仕様書等の導入に向けた取組を進める。
投票率アップについて
問 移動投票所設置の取組について。

答 設置について検討していく。
新型コロナウイルス感染症について
問 ①PCR検査センターの設置への見解。②ワクチン接種記録アプリの取組。
答 ①必要な対策を実施。②情報を収集。
GIGAスクールについて
問 市の所見を伺う。
答 授業の形そのものを改革することで、児童生徒の学習活動の一層の充実と教師の授業改善を目的としている。



坂本 崇
(櫻鳴会)



弘前市のボランティア施策について

問 今後、市はどのように取り組むのか。
答 ボランティアの裾野の拡大や活動内容の充実につながる支援体制を早急に整備し、ボランティア活動の一層の活性化を図るため、ボランティア施策を強化し、重点的に取り組む。強化に向け、市民向けに支援業務を行っている市社会福祉協議会のボランティアセンターと市のボランティア支援センターを統合し、令和4

年4月に新しいセンターを開設する。
弘前市の四大まつりについて
問 コロナ禍における今後のまつりについて伺う。
答 今後のまつりの開催については、県内外の感染状況を注視し、ワクチン検査パッケージ制度の適用状況なども見極めながら、まつりを楽しみにされている市民や観光客が、安心してお越しいただけるよう努めていく。

令和3年第4回定例会も、新型コロナウイルス感染症対策として1人の質問時間を60分から50分に短縮しました。

令和3年第4回定例会日程 (26日間)

11月26日(金) 本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明	12月14日(火) 常任委員会	予算決算
11月27日(土)~12月6日(月)	議案熟考	12月15日(水)~12月20日(月)	議事整理
12月7日(火)~12月9日(木)		12月21日(火) 本会議	各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会
12月10日(金) 本会議	一般質問		
12月13日(月) 常任委員会	一般質問、議案付託		
	経済文教、建設、総務、厚生		

弘前市マスコットキャラクター
たか丸くんエコバージョン





議長
今泉 昌一
(さくら未来)



中心市街地活性化について

問 今後の取組は。
答 令和4年1月末までに「(仮称)弘前市中心市街地活性化ビジョン」の素案を決定し、令和4年2月にパブリックコメントの実施を予定している。
 今年度中に正式なビジョンを公表し、将来世代にわたり、持続的に発展していく中心市街地の構築を図っていききたいと考えている。



市長
蒔苗 博英
(創和会)



健康増進について

問 市民自らが健康増進に取り組むことが必要ではないか、市の見解を問う。
答 市民が自らの健康づくりに自主的に取り組む仕組みづくりなどを進めながら、市民の健康増進に向けた各種施策を展開し、健康寿命の延伸に取り組んでいく。
りんご産業イノベーションについて
問 進捗状況と今後の計画について。
答 VR技術を活用し、高品質りんごの

学校司書について

問 今年度のこれまでの取組と成果は。
答 学校司書配置研究事業で、学校司書2名を研究校である岩木小学校と第一中学校に配置している。学校図書館の1か月あたりの利用人数が、岩木小学校は事業開始当初の4月は251人で10月は812人に増え、第一中学校では4月は298人で10月は548人に増加しており、児童生徒の読書活動推進への効果が表れている。

安定生産に重要な技術を早期に習得可能とする「剪定学習支援システム」の実証構築に取り組んできた。
 さらに、AI技術を活用した摘果強度の判断をサポートするため、スマートフォンで撮影した画像から着果数を算出する手法を構築するほか、市りんご公園でのロボット草刈機や高密植栽培の実証、アシストスーツの有効性の検証など新たな技術の活用や展開に取り組んでいく。



福土 文敏
(創和会)



消防団の組織、施設、設備、報酬等について

問 当市の消防団の組織等の現状を問う。
答 市消防団の組織については、111の分団を設置し、消防団員数は令和3年4月1日現在の実員数で1,823名となっている。消防屯所については108棟あり、消防車両は計111台を配備している。団員の報酬は、年手当については団長の7万8000円から団員の2万4000円と定めて

おり、出動手当や訓練手当などは、1回2,000円と定めている。また、地方交付税で措置される国の基準は、分団数は26分団、団員数は988人、消防車両は26台、年手当は団長の8万2500円から、団員の3万6500円、出動手当は1回あたり7,000円となっており、当市の現状と地方交付税の算定基礎を比較すると、報酬の額は交付税の基準より低く、分団数、団員数等は交付税の基準より多くなっている。



佐藤 哲
(櫻鳴会)



津軽岩木スカイラインの除雪について

問 雪解けまで待つと緊急事態が生じた場合に打つ手がないが市の見解は。
答 津軽岩木スカイラインは、昭和40年に岩木山8合目までの全長9.8キロメートルの有料自動車道として開通。多くの市民や観光客の利用により、津軽広域への観光波及と経済効果があり周辺市町村にとっても重要な観光資源である。
 平成22年度には国と県の補助金で8合

目の休憩施設やトイレを整備し、27年度には県の補助金で法面の復旧工事を行った。除雪協力については、緊急避難や輸送の役割を担うため公益上必要と判断し、株式会社岩木スカイラインの要望を受け、市道・農道の除雪が終わった後に共同で実施してきた。今後も魅力的な観光資源の活用と地域経済の活性化につなげ、緊急時の確実なアクセスルート確保のため春の早期開通に協力していく。

議案等に対する各議員の賛否状況

○は賛成、●は反対。請願は、○は採択、●は不採択。
 -は採決に加わらなかったもの。

議案等名	採決結果	竹内博之	成田大介	坂本崇	齋藤豪	福土文敏	蛭名正樹	石山敬	木村隆洋	千葉浩規	野村太郎	外崎勝康	尾崎寿一	蒔苗博英
弘前市母子生活支援施設条例を廃止する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
指定管理者の指定について【弘前図書館等】	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
弘前市監査委員条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める請願	不採択	●	○	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●



齋藤 豪
(櫻鳴会)



教育行政について

問 GIGAスクール構想の現状は。
答 令和2年度末までに、1人1台の端末を配備し、令和3年4月から各学校で活用を始めている。実際に体を動かしたり話し合ったりする体験的な活動と、端末を活用する活動とを効果的に組み合わせ、多様な児童生徒の考えを視覚的に共有することが可能になり、協働的な学習の充実が図られている。

コロナ禍の弘前さくらまつりについて

問 今年の開催結果と来年の開催方針は。
答 令和3年は、県に相談しながら主催者間で協議を重ね、感染防止対策を徹底した上で多くの方々に日本一の桜を堪能してもらえるよう努めた。令和4年に向け、これまでの知見や経験を生かし、例年以上の人出も想定して準備を進める。
 〈その他の質問項目〉○児童生徒のインターネット利用に関する調査について



工藤 光志
(木揚公明)



許認可等における標準処理期間について

問 標準処理期間の一覧表をどのような形で公表するのか。また、他市の状況は。
答 当市においては、年度更新に合わせて、令和3年4月から整備を進め、10月に市ホームページへ標準処理期間の一覧を掲載するとともに、標準処理期間と審査基準を表示した資料を許認可等の担当部局等の窓口を設置した。
 県内他市の標準処理期間等の取扱いに

ついては、審査基準や標準処理期間を設定した場合は、その都度、個別にホームページへの掲載や窓口への設置により公表している状況であり、現時点において当市のような一覧としての公表はしていないものと伺っている。
 市としては、今年度整備した標準処理期間等の定期的な見直しを行い、市政運営における公正の確保と透明性の向上に努めていく。



竹内 博之
(さくら未来)



情報公開と開かれた市政運営について

問 市の姿勢について伺う。
答 市民の市政への理解や一層の市民参加促進のため、市情報公開条例で市が保有する公文書の開示を請求する権利を定めるなど、情報公開制度の促進を図る。
障がい者福祉サービスについて
問 医療的ケア児を支援する障がい福祉サービスの提供体制について伺う。
答 市内事業者の提供可能な医療的ケア

の内容は限られている。市地域自立支援協議会に医療的ケア児専門部会を設置し、ケア児が適切な支援を受けられるよう協議を開始した。地域共生社会の実現を目指し、障がい者福祉の充実に取り組む。
選挙投票率と今後について
問 投票率向上のための取組について。
答 高校生等に対する新たな啓発事業について、弘前市明るい選挙推進協議会と連携を図り実施内容を検討していく。

定例会一般質問等のラジオ放送

本会議の傍聴やインターネットでの中継視聴ができない方のため、ラジオ放送もしています。FMアップルウェーブ（周波数78.8メガヘルツ）で、一般質問等の様子を当日下午8時から放送します。
 ※緊急時、災害時には変更される場合も有り。

弘前市議会ホームページ

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gikai/index.html>

インターネットによるライブ中継・録画中継、会議録検索システム、議会の日程など、市議会の情報は、こちらでご覧いただけます。

弘前市議会 インターネット中継

弘前市議会 会議録

検索



議長（清野一榮）は採決に加わっていません。
 ※賛否が分かれた議案等のみ掲載しております。

松橋 武史	今泉 昌一	小田桐 慶二	鶴ヶ谷 慶市	石岡千鶴子	石田 久	三上 秋雄	佐藤 哲	越 明男	工藤 光志	清野 一榮	田中 元	宮本 隆志	下山 文雄
○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○
○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○
●	○	○	○	○	●	●	●	●	○	-	●	●	○
●	●	●	●	●	○	●	○	○	●	-	●	●	●

令和3年第4回定例会審議結果

※議会での慎重審議により、承認、可決となりました。

市長提出議案：27件

予算関係：11件、条例関係：11件、その他：5件

議員提出議案：2件

議員発議：1件

会派一般行政視察

日本共産党

1月10日(月)～13日(木)

①愛媛県松山市

○みんなで歩いて暮らせるまちづくりについて

②愛媛県大洲市

○防災対策（自主防災組織の活動）について

③愛媛県西予市

○平成30年豪雨からの復興に向けた取組について
○PFI事業として進める卯之町「はちのじ」まちづくり整備事業について

④愛媛県宇和島市

○ふるさと創生事業（人口減少対策）について



西予市議場にて

さくら未来・無所属議員(成田大介)

1月11日(火)～13日(木)

①兵庫県明石市

○離婚前後のこども養育支援について
○こども食堂について

②京都府八幡市

○主権者教育について



八幡市役所にて

創和会

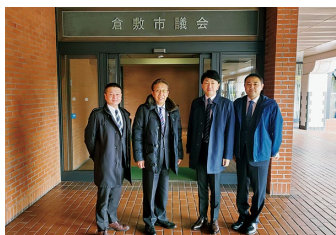
1月11日(火)～13日(木)

①岡山県倉敷市

○観光振興プログラムについて

②兵庫県姫路市

○文化財を活用した観光行政について



倉敷市議会庁舎にて

木揚公明

1月12日(水)～14日(金)

①愛媛県松山市

○選挙コンシェルジュについて
○中心市街地活性化について

②香川県琴平町

○観光誘客への取組について



松山市役所にて

※視察の際は、マスクの着用、手指消毒など、感染症の感染防止対策を行っております。

表紙の写真大募集!!

- ◎テーマ 弘前市内で撮影された写真 (風景・まつり・イベントなど)
- ◎規格 デジタル写真データ (JPEG形式、サイズ1MB以上、横撮りのみ)
- ◎応募資格 弘前市に在住・在勤・在学の方
- ◎応募方法 写真のタイトル(10文字以内)・撮影場所・撮影日・住所・氏名・電話番号を明記の上、メール、郵送、持参。
※メールの場合は、件名に「だより表紙写真」と入力してください。
- ◎締め切り 締め切りは令和4年7月8日(金)です。また、応募写真が必ずしも採用されるとは限りません。
- ◎掲載時期 令和4年9月発行予定の第70号
【詳しくはホームページ、または議会事務局へ】

委員会等活動報告

経済文教常任委員会

10月29日(金) 千年小学校

①学校におけるICT活用状況について

11月1日(月) 津軽中学校

①学校におけるICT活用状況について



津軽中学校で活用状況を確認

ひろさき市議会だより編集特別委員会

10月25日(月) 市役所

①掲載内容について

12月21日(火) 市役所

①掲載内容について

②編集日程について

「ひろさき市議会だより」について、ご意見・ご感想などがありましたら、今後の参考にさせていただきますので、TEL・ファクス・メールなどでお気軽にご連絡ください。
(連絡先は右上に有ります。)

議会の傍聴 自粛のお願い

新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、当面の間、本会議及び委員会等の傍聴については、できる限りお控えくださるようお願いいたします。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。(議会の傍聴を希望される方を拒むものではありません。)

インターネット中継でご覧になれるほか、市役所 前川新館 1階市民ギャラリーにモニターテレビを設置し、中継放送もしております。

次回定例会日程(予定)

- | | | |
|------------|----------|--------------------|
| (2月10日(木)) | 議会運営委員会 | 会期日程等の協議 |
| 2月18日(金) | 開会日(本会議) | 開会、会期の決定、提案理由の説明 |
| 3月17日(木) | 閉会日(本会議) | 各委員長の報告、質疑討論、表決、閉会 |

※日程、傍聴の取扱いについては、議会開会前にホームページ等でご確認ください。